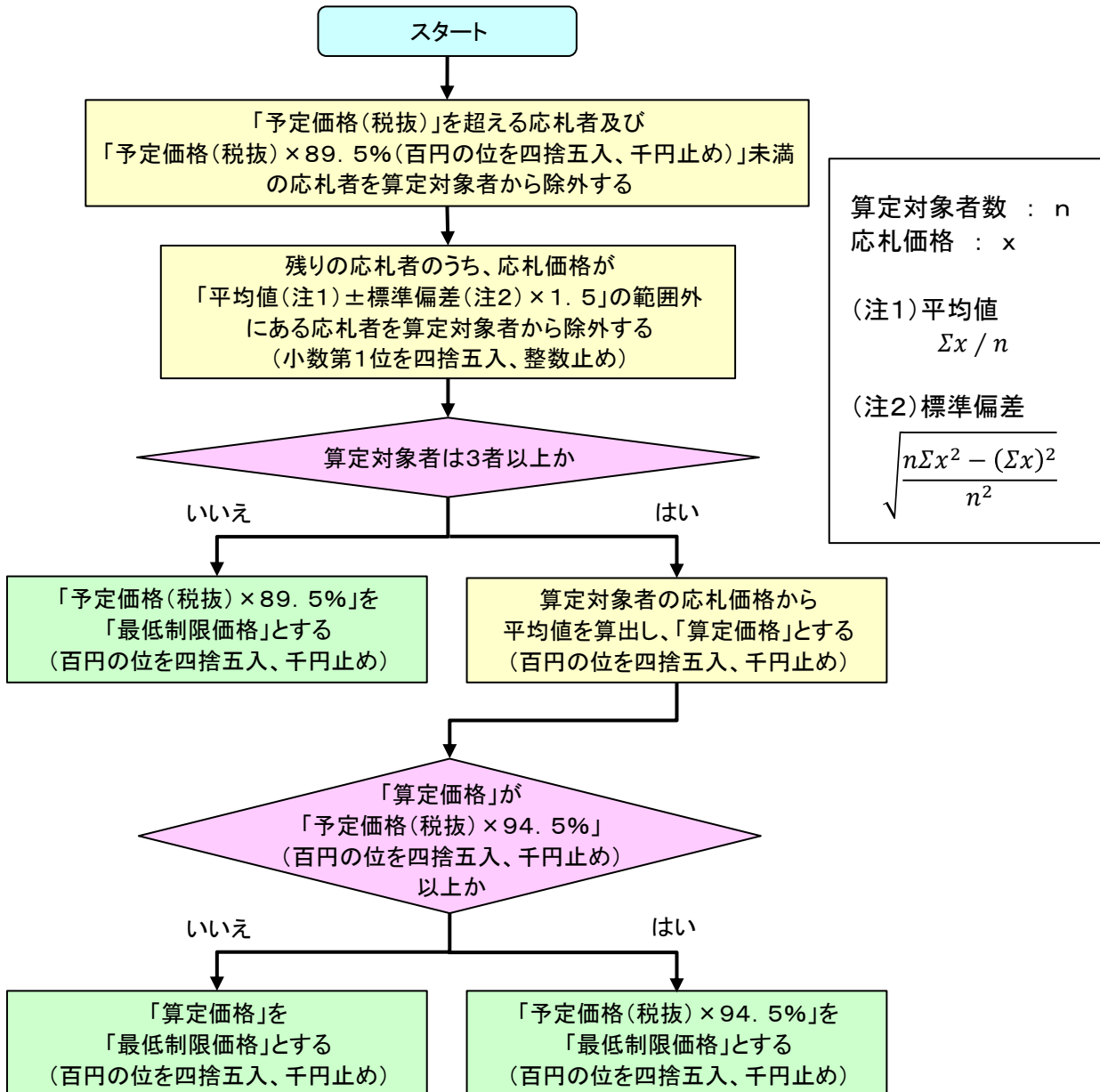


上田市建設工事における入札制度改正について

入札及び契約の適正化を促進するため、本市の建設工事入札における最低制限価格の算定方法を以下のとおり改正しましたので、お知らせします。

なお、入札書の様式に変更はありません。入札書に記載する任意の3桁数値は、同価入札時に使用しますので、これまでどおり記載してください。

- 1 適用対象 : 130万円超の建設工事（一般競争入札又は指名競争入札）
- 2 適用開始 : 令和5年4月1日以降の入札公告又は指名通知から適用
- 3 最低制限価格の算定フロー



最低制限価格の算定例

予定価格（税抜） 10,000,000 円
 予定価格（税抜）×89.5% 8,950,000 円（百円の位を四捨五入、千円止め）

【例1】算定対象者が3者未満の事例

応札者	応札価格 (円)
A者	9,000,000
B者	9,300,000

⇒

項目	算定式	価格(円)
最低制限価格	「予定価格（税抜）×89.5%」を採用	8,950,000
入札結果	落札者	A者
	落札金額	9,000,000

【例2】算定対象者が3者以上で、算定価格が最低制限価格の上限未満になった事例

応札者	応札価格 (円)	第一判定	第二判定
A者	8,900,000	失格	
B者	9,000,000	①	
C者	9,100,000	②	
D者	9,300,000	③	落札
E者	9,400,000	④	
F者	9,900,000	⑤	失格
G者	11,000,000	失格	

⇒

項目	算定式	価格(円)
平均値 $\Sigma x / n$	(①+②+③+④+⑤) ÷ 5 (小数第1位を四捨五入、整数止め)	9,340,000
標準偏差	n=5、x=応札価格 Excel関数(STDEV.P)を利用 STDEV.P(①,②,③,④,⑤) (小数第1位を四捨五入、整数止め)	313,688
採用範囲(上限)	平均値+標準偏差×1.5	9,810,532
採用範囲(下限)	平均値-標準偏差×1.5	8,869,468
算定価格	算定対象者の平均値 (①+②+③+④) ÷ 4	9,200,000
最低制限価格(上限)	予定価格(税抜)×94.5%	9,450,000
最低制限価格	算定価格が上限未満	9,200,000
入札結果	落札者	D者
	落札金額	9,300,000

【例3】算定対象者が3者以上で、算定価格が最低制限価格の上限以上になった事例

応札者	応札価格 (円)	第一判定	第二判定
A者	8,950,000	①	失格
B者	9,200,000	②	
C者	9,300,000	③	
D者	9,400,000	④	
E者	9,500,000	⑤	落札
F者	9,850,000	⑥	
G者	9,900,000	⑦	

⇒

項目	算定式	価格(円)
平均値 $\Sigma x / n$	(①+②+③+④+⑤+⑥+⑦) ÷ 7 (小数第1位を四捨五入、整数止め)	9,442,857
標準偏差	n=7、x=応札価格 Excel関数(STDEV.P)を利用 STDEV.P(①,②,③,④,⑤,⑥,⑦) (小数第1位を四捨五入、整数止め)	316,711
採用範囲(上限)	平均値+標準偏差×1.5	9,917,924
採用範囲(下限)	平均値-標準偏差×1.5	8,967,791
算定価格	算定対象者の平均値 (②+③+④+⑤+⑥+⑦) ÷ 6	9,525,000
最低制限価格(上限)	予定価格(税抜)×94.5%	9,450,000
最低制限価格	算定価格が上限以上	9,450,000
入札結果	落札者	E者
	落札金額	9,500,000